



夏祭り in いたばし花火大会

安部 花子

8月3日、いたばし花火大会に参加しました安部と申します。今回は総勢約60名のロシア大使館関係者の皆さんと、1万5000発の打ち上げを誇る東京最大の花火大会である「いたばし花火大会」を心ゆくまで堪能しました。

実は花火大会の存在を知ったのは前日の朝。モスクワへの留学試験に受かった友人から渡露前の最後に一緒に参加しようと誘われたのがきっかけでした。人混みの凄まじさに恐れをなし、浅草橋に住んでいた時ですら隅田川の花火大会をテレビ中継でしか見ない派の私にとっては一大決心でしたが、友人に会う最後のチャンスを逃すまいといざ板橋区へ向かいます。

当日、待ち合わせ場所の蓮根駅に向かう途中、電車は満員状態。車両から吐き出され改札へ向かうと、既に50名以上のロシア大使館関係者の皆様が大勢お揃いで、千葉副会長の姿を見つけホッと一安心。いざ会場へ向かいます。道中、過去の浴衣着付け教室や料理教室で一緒したロシア人参加者の方とも再開を果たし、親しい顔ぶれで花火を見られることを嬉しく思いました。



突然の雷雨に惨憺たる混乱ぶりとなった足立の花火大会をニュースで見たのがついこの間のこと、とにかくすし詰めでも、蒸し風呂でも、花火を現地で楽しむためには必要な代償だ…！と覚悟して現地に向かうと、なんとそこには広々としたびかびかのブルーシートが！頭上にはさえぎる物のないまん丸の夜空が広がり、まるでテレビで見るような抜けの良い景色が広がっています。下は芝生で、念のためにもって

きたクッションなど不要なほど、ふかふかの特等席。日向寺専務理事がご厚意から、早朝に設営をして下さり、日中の炎天下のさなかも場所をキープし続け、この素晴らしい特等席をしつらえてくださいました。巨大クーラーボックスも完備され、ちょっとした青空バーの様相。他の有名な花火大会でどんなに高額で予約の取れない特等席を押さえても、ここに勝るものはないと思います。

屋台もまばらに出ていましたが、私たちのブルーシートでの花火のお供は、日本らしいお祭りフードに加えてロシア人参加者の方がプレゼントに持ってきてくださった、ウォッカ、ゼフィール、そして私の大好きなロシア名物アリオンカ・チョコレート。この蒸し暑さの中でも美味しい状態で食べられるよう、ロシア人参加者の方が保冷剤とともに一生懸命持ってきてくださった差し入れの味は格別。美味しい楽しい花火大会をみんなで味わいます。大きな花火が上がるたびに、ロシア人からも日本人からも歓声が上がります。あまりの素晴らしい巨大花火の連続技に、ずっと見上げている首が痛くなってしまい顔を見合わせて笑ってしまう場面もありました。私の周りの席はロシア語での会話が多くあまり分からなかったのですが、言葉が通じなくても、一緒に美しいものをみて感動し笑いあうことができ、とても楽しかったです。今回のような素晴らしい回を企画してくださった運営の皆様、これ以上ない場所づくりをしてくださった日向寺常任理事様、本当にお疲れ様でした。心より感謝申し上げます。